



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社

コード番号 4112 URL <https://www.hodogaya.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松本 祐人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 毛利 康宏 TEL 03-6852-0327

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,965	△2.0	1,001	△36.3	1,402	△17.6	664	△22.6
2022年3月期第1四半期	10,173	△1.7	1,571	△30.5	1,702	△29.0	858	△19.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,460百万円 (73.3%) 2022年3月期第1四半期 842百万円 (△65.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	83.94	-
2022年3月期第1四半期	108.45	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	68,317	48,880	61.6
2022年3月期	66,448	47,912	62.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 42,109百万円 2022年3月期 41,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	32.50	-	32.50	65.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	5.1	4,300	△33.0	4,300	△37.8	2,400	△26.1	303.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	8,413,726株	2022年3月期	8,413,726株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	496,174株	2022年3月期	496,038株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	7,917,621株	2022年3月期1Q	7,917,260株

※ 四半期決算短信は従来より監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動に持ち直しの動きが見られたものの、原燃料価格の高騰やロシアのウクライナ侵攻、及び急激な円安の進行など、先行きが不透明な状況は継続しています。

このような情勢下、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比208百万円減（2.0%減）の9,965百万円になりました。

損益面では、営業利益は、前年同期比570百万円減（36.3%減）の1,001百万円となりました。

また、経常利益は、前年同期比299百万円減（17.6%減）の1,402百万円、

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比194百万円減（22.6%減）の664百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

[機能性色素セグメント]

有機EL材料事業は、当社の子会社におけるPCR診断キット用材料の需要が減少しましたが、スマートフォン向けディスプレイ分野においては、有機ELパネルの需要が引き続き増加し、有機EL材料事業全体としては前年同期並みとなりました。

色素材料事業は、繊維向け染料の需要が減少しましたが、文具染料でのコロナ禍からの需要回復や、アルミ着色用染料のスマートフォン向け販売が引き続き好調に推移したことにより増加し、前年同期並みとなりました。

イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要が引き続き堅調に推移しており、前年同期並みとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比17百万円減（0.4%減）の4,040百万円となりました。

[機能性樹脂セグメント]

特殊化学品事業は、医薬向け及び剥離剤向け等が好調に推移したことから、大幅な増収となりました。

一方、建築材料事業は、材料販売は堅調に推移し増加しましたが、大型防水工事の受注減により、減収となりました。

また、樹脂材料事業は、タイヤ用接着剤の中国でのロックダウン等に伴う需要減少や、ウレタン原料の販売減少により、大幅な減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比163百万円減（6.1%減）の2,502百万円となりました。

[基礎化学品セグメント]

過酸化水素は、経済活動の回復に伴う紙パルプ向け需要が堅調に推移したことに加え、工業薬品向けで半導体市場を中心に需要が好調に推移したことから、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比33百万円増（1.9%増）の1,753百万円となりました。

[アグロサイエンスセグメント]

ゴルフ場向け及び農耕地向け除草剤や、殺虫剤向け等は需要が好調に推移しましたが、家庭園芸向け除草剤は、巣ごもり需要の後退により、減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比71百万円減（5.9%減）の1,144百万円となりました。

[物流関連セグメント]

国内外での経済活動の回復に伴い輸出の取扱量が好調に推移し、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比30百万円増（6.4%増）の510百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末(6月末)における資産合計は、68,317百万円となり、前連結会計年度末(3月末)比1,869百万円の増加となりました。

主な増減要因は、原材料及び貯蔵品の増加968百万円、現金及び預金の増加579百万円、商品及び製品の増加291百万円等であります。

負債合計は、19,436百万円となり、前連結会計年度末比900百万円の増加となりました。

主な増減要因は、短期・長期借入金の増加877百万円、未払法人税等の減少337百万円等であります。

純資産合計は、48,880百万円となり、前連結会計年度末比968百万円の増加となりました。

主な増減要因は、利益剰余金の増加427百万円、為替換算調整勘定の増加337百万円、非支配株主持分の増加274百万円等であります。

以上の結果、自己資本比率は61.6%となり、前連結会計年度末の62.3%から0.7ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、2022年5月16日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,943	11,522
受取手形、売掛金及び契約資産	12,429	11,719
有価証券	511	530
商品及び製品	6,019	6,310
仕掛品	1,130	1,207
原材料及び貯蔵品	2,177	3,146
その他	831	1,183
貸倒引当金	△29	△27
流動資産合計	34,013	35,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,282	6,446
土地	11,709	11,717
その他(純額)	4,458	4,821
有形固定資産合計	22,449	22,985
無形固定資産		
のれん	43	42
ソフトウェア	153	179
その他	46	26
無形固定資産合計	243	247
投資その他の資産		
投資有価証券	7,987	7,877
長期貸付金	233	236
繰延税金資産	232	195
その他	1,305	1,199
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	9,741	9,491
固定資産合計	32,435	32,724
資産合計	66,448	68,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,738	4,769
短期借入金	2,999	4,108
未払法人税等	1,086	748
引当金	675	411
契約負債	24	21
資産除去債務	72	-
その他	1,890	2,626
流動負債合計	11,487	12,687
固定負債		
長期借入金	3,366	3,134
繰延税金負債	1,259	1,209
再評価に係る繰延税金負債	1,228	1,228
退職給付に係る負債	73	77
資産除去債務	19	81
その他	1,101	1,018
固定負債合計	7,048	6,749
負債合計	18,535	19,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	8,718	8,718
利益剰余金	16,883	17,310
自己株式	△1,666	△1,667
株主資本合計	35,131	35,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,303	2,233
土地再評価差額金	2,784	2,784
為替換算調整勘定	1,196	1,533
その他の包括利益累計額合計	6,284	6,551
非支配株主持分	6,496	6,771
純資産合計	47,912	48,880
負債純資産合計	66,448	68,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	10,173	9,965
売上原価	5,992	5,904
売上総利益	4,181	4,060
販売費及び一般管理費	2,609	3,059
営業利益	1,571	1,001
営業外収益		
受取利息	5	18
受取配当金	127	168
固定資産賃貸料	20	14
為替差益	—	209
雑収入	20	18
営業外収益合計	174	429
営業外費用		
支払利息	12	11
為替差損	11	—
環境関連整備費	17	13
雑損失	2	3
営業外費用合計	43	28
経常利益	1,702	1,402
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産除却損	0	2
本社移転費用	—	18
その他	0	—
特別損失合計	0	21
税金等調整前四半期純利益	1,702	1,384
法人税等	478	417
四半期純利益	1,223	966
非支配株主に帰属する四半期純利益	365	302
親会社株主に帰属する四半期純利益	858	664

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,223	966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△392	△69
為替換算調整勘定	11	563
その他の包括利益合計	△381	493
四半期包括利益	842	1,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	476	931
非支配株主に係る四半期包括利益	366	528

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,702	1,384
減価償却費	395	418
のれん償却額	2	3
引当金の増減額 (△は減少)	△283	△268
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	3
受取利息及び受取配当金	△132	△186
支払利息	12	11
為替差損益 (△は益)	△4	△8
有形固定資産除却損	0	2
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	289	860
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△435	△1,218
仕入債務の増減額 (△は減少)	282	△84
その他の資産・負債の増減額	13	△94
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1	5
その他	11	△4
小計	1,858	819
利息及び配当金の受取額	123	185
利息の支払額	△12	△10
法人税等の支払額	△583	△775
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,386	218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△492	△1,038
定期預金の払戻による収入	—	517
有形及び無形固定資産の取得による支出	△452	△670
有形固定資産の除却による支出	—	△2
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	5
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△12	△18
貸付金の回収による収入	8	12
差入保証金の差入による支出	△82	△39
差入保証金の回収による収入	20	2
長期前払費用の取得による支出	△4	—
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,015	△1,233

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,105
長期借入金の返済による支出	△288	△231
非支配株主への配当金の支払額	△35	△10
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△31	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△356	831
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	210
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	36	27
現金及び現金同等物の期首残高	9,331	10,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,367	10,392

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性が欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	4,058	2,666	1,720	1,215	480	10,141	32	10,173	—	10,173
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	86	39	42	—	390	559	40	599	△599	—
計	4,145	2,705	1,763	1,215	870	10,700	72	10,773	△599	10,173
セグメント利益 又は損失(△)	1,021	178	158	123	96	1,578	△6	1,571	△0	1,571

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、PCR診断キット用材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
- (5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	4,040	2,502	1,753	1,144	510	9,952	12	9,965	—	9,965
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	65	47	51	—	404	569	44	614	△614	—
計	4,106	2,550	1,805	1,144	914	10,521	57	10,579	△614	9,965
セグメント利益 又は損失(△)	714	107	△56	154	83	1,003	△2	1,001	△0	1,001

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、PCR診断キット用材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
- (5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引取消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。